

岡山市新庁舎基本設計（素案）市民説明会 議事要旨

日時 令和3年3月7日（日） 10:00～11:00

場所 岡山市役所 本庁舎3階 第3会議室

1 開会挨拶

- ・総務局新庁舎整備担当部長挨拶

2 説明

- ・岡山市新庁舎基本設計（素案）について
- ・空間イメージ3D動画視聴

3 質疑応答

1. 開会 総務局新庁舎整備担当部長挨拶

- ・この本庁舎は、昭和43年に建築され、50年以上が経過しており、震度6強の大規模地震発生時に倒壊の恐れがあることが判明しており、防災機能面の課題に加え、老朽化や市民窓口の分散、バリアフリーへの対応が不十分など、様々な課題を抱えている。
- ・新庁舎は、令和8年度の供用開始を目指し、このたび建物の概要を決めるための基本設計の素案を取りまとめたところ。
- ・新しい庁舎がどうなるのか様々な疑問をお持ちだと思う。具体的なお答えができない部分もあるかと思うが、疑問点やご要望など、忌憚の無いご意見を頂戴したい。今後も説明会を含め、様々な情報発信を通じて進めていきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

2. 説明

<基本設計（素案）について説明>

<空間イメージ3D動画の視聴>

3. 質疑応答

<主な質疑応答の内容>

- ・庁舎1階で一時避難者を200名受け入れとなっているが、スペースを活用すれば、もっと入れるのではないかと。
- 庁舎は指定避難所ではないので、一時的に避難者を受け入れ、数日後には指定避難所に移ってもらうことを想定している。ご指摘のとおり、他のスペースも活用できるかは引き続き検討していきたい。

・災害時に1階や2階の広場も避難スペースとして活用できると思うが、EVが使えないときに体が不自由な方は登れないのではないかな。

→2階は一時避難者とバッティングしないように、災害時の臨時窓口や災害ボランティアの受付場所などになることを想定している。また、非常用発電により一部のEVは使えるように考えている。

・災害時に水道、下水道が使えないときにトイレはどうするのか。東区の図書館では広場がトイレになるが、そういうことも考える必要があるのではないかな。

→緊急用排水槽(7日分)や受水槽(4日分)を設置する予定であり、上下水道が止まったときにも対応できるように考えている。また、公園はマンホールトイレが設置できるように考えていきたい。

・来庁者は西側県道からの出入りだけになるのか。周辺住民としては交通渋滞を心配している。

→2期工事にはなるが、駐車場の出入口は東側にも設置する予定としている。2期工事が終わるまでは、地下駐車場は公用車中心となり、貯金事務センター跡地を来庁者駐車場として利用することになる。交通量調査をした結果を踏まえて、渋滞の恐れはないと考えているが、現在、都市整備局がもう少し広い範囲の交通量調査や車線構成等の道路計画を行っている。

・南側のマンションは庁舎から見下ろされることになる。プライバシーへの配慮はどう考えているのか。

→狭い敷地ではあるが、できるだけ建物を北側に寄せ、マンションから30m程度はバックできるように配慮した。

また、庁舎から見られるというプライバシーへの配慮については、設計事務所とも協議しているところであり、引き続き相談しながら進めていきたい。

・北面に比べて、南面の庇は緑化しておらず、殺風景に見える。庁舎の南に住んでいるが、今は公園の緑がよく見えている。南側だからこそ緑化をして、温度上昇を防ぐなどのデザインにしたほうがいいのではないかな。

→南は既存躯体を残しながら、広場をできるだけ緑化していきたいと考えているが、1階の庇についても緑化できないか検討しているところ。

・大供公園で子どもたちがよく遊んでいる。公園はいつからいつまで使えなくなるのか。

→令和4年から駐車場と公園の解体が始まる。地元の方にはご迷惑をおかけすることになるが、令和4年度当初から令和12年度頃まで、公園は使えなくなる。

・貯金事務センター跡地を駐車場や公園に利用できるのではないかな。

→来庁者のための駐車台数を確保するために仮設駐車場として令和12年頃までは使う予定。

・周辺が通学路となっているが、どのような対策を考えているのか。

→工事中の仮設計画を考える中で、交通安全の確保ができるように考えていきたい。具体的になったら、またご説明したいと考えている。

・別館やKSBのビルなど周辺にも執務室が分散しているが、集約できるのか。全体の考え方を示してほしい。

→平成30年度の基本構想で集約の考え方を示している。分庁舎や保健福祉会館、KSBにある本庁・北区役所機能を集約する考えで進めている。

・岡大病院のヘリポートはお昼に何回も巡回して、騒音や落下の危険を心配している。庁舎のヘリポートは市単独で使うものか。

→庁舎のヘリポートは大災害時の人員輸送や情報収集での利用を想定している。災害時の訓練等で利用することはあるが、病院の緊急搬送ほどの頻度ではない。

・北陸の地方都市では、議場をガラス張りにして、音声も外に流している。手続きなどで来た市民に議会がやっていることをPRするような使い方も考えてほしい。

→議場の廊下をガラス張りにしており、見学者などにも対応できるようにしている。また、現在1階のモニターに映像を流しているのので、新庁舎でもどのような形で導入できるかを検討していきたい。

・庁舎の規模が大きくなり、維持管理費も上がる。ランニングコストも考えながらやっているのか。

→エネルギー消費量を50%削減するZEB Readyを目指しており、光熱水費などのランニングコストに反映されてくる。また、それぞれの設備や断熱性能などを選択する際に、イニシャルだけでなくランニングコストも含めて総合的に検討している。

・現在、大供公園で多くの喫煙者がいる。喫煙者の対策はどう考えているのか。

→現在は、庁舎内は禁煙で、特定屋外喫煙場所として屋上に喫煙スペースを設けている。新庁舎でも望まない受動喫煙を防止するということを考えながら、実施設計で検討していきたい。

<終了>